

# ALESIS

## ***PA SYSTEM IN A BOX BUNDLE***

ユーザーガイド

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

### 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。  
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替いを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] <http://alesis.jp/>

**ALESIS** <お問い合わせ>

### カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23  
オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

## ユーザーガイド

### はじめに

#### 同梱品

- ・ PA80 パワードミキサー
- ・ 10" パッシブスピーカー x 2
- ・ スピーカースタンド x 2
- ・ スピーカーケーブル x 2
- ・ マイク
- ・ マイクケーブル
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

#### サポート

製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）は、アレスリス・ホームページ（[alesis.jp](http://alesis.jp)）内の製品ページをご確認ください。その他、製品についてのお問い合わせや修理などにつきましては、サポートページ（[alesis.jp/support](http://alesis.jp/support)）をご覧ください。

#### スピーカー・スタンドでの設置

- スピーカーの重量に耐えうるスタンドやポールをご用意ください。またそれぞれのメーカーが指示する使用方法に従って設置してください。
- 一つのスタンドやポールに、複数のスピーカーを同時に設置しないでください。
- スタンドやポールは、安全で安定した平面に設置してください。三脚スタイルの場合は、脚を十分に開き、また脚が邪魔にならないように設置してください。
- 使用前にスタンドやポール、またそれらに付随する部品や設備を点検し、損傷や摩耗、不足があるような場合は、使用を中止してください。
- 風の強い屋外での使用は、十分注意が必要です。砂袋などを用いて、スタンドが倒れないようにしてください。また、バナーなどを取り付けると、バナーが風にあおられてスタンドごと倒れてしまうことがあり危険です。
- スタンドに設置する際、スピーカーを一人で持ち上げられない（運べない）場合は、必ず誰かに手伝ってもらい複数の人で行いましょう。無理に一人で持ち上げる（運ぶ）のは大変危険です。
- スタンドに設置後、演者やスタッフ、観客が、接続したケーブル類につまづかないよう、ケーブルは邪魔にならない安全な位置に配線してください。

#### サウンドレベル

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。米国労働安全衛生庁 (OSHA) は、特定の音量空間に身を置く場合、聴力に影響のない時間を指定しています。OSHA によると、この限度を上回る音圧レベル (SPL) の場合、難聴など聴力に悪い影響をおよぼす場合があります。本製品など、高い SPL を出力可能な機材を使用する場合、耳栓を利用するなど聴力保護に努めてください。

一日あたりの時間	SPL (dB)	例
8	90	小さな演奏会
6	92	列車
4	95	地下鉄
3	97	デスクトップ・モニタスピーカ
2	100	クラシック音楽のコンサート

一日あたりの時間	SPL (dB)	例
1.5	102	リベット・マシン
1	105	機械工場
30分	110	空港
15分以下	115	ロックコンサート

## セットアップ

**重要：**各ケーブルを接続する際は、すべての機器の電源がオフになっていることを確認してください。

ミキサーとスピーカーをセットアップするには：

1. 2 台のスピーカーを、ステレオ感が十分に感じられる程度に離して設置し、それらの間にミキサーを設置します。
2. スピーカーケーブルを、ミキサーの背面の端子と左右それぞれのスピーカーの端子に接続します。
3. 安全のため、各チャンネルのレベルノブを最小にし、EQ をフラットにして、マスターレベルも 0 にします。
4. 各チャンネルに、マイクや楽器、プレーヤーなどを接続します。
5. マスターレベルを 70%ほどに上げます。
6. ミキサーの電源ケーブルを接続し、電源スイッチをオンにします。
7. 各チャンネルのレベルを歪まない範囲で目的の音量に設定します。

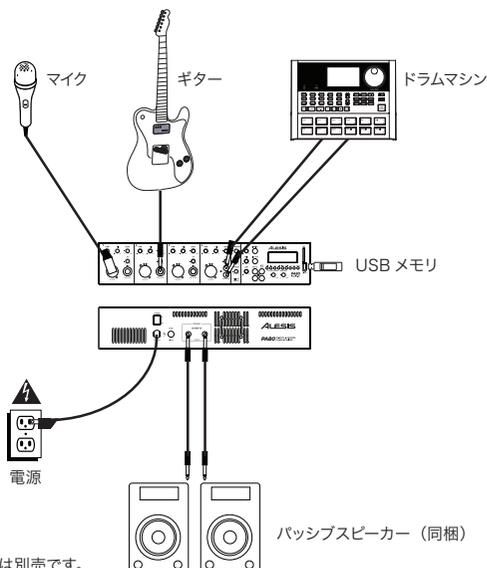
### 設置のヒント：

- クリアなサウンドをなるべく速くまで届かせるのに、安定した適切な高さにスピーカーを設置することが重要です。多くの場合、その点において、三脚タイプのスピーカースタンドは有益です。
- マイクをスピーカーに向けてハウリングを起こすと、スピーカーの破損に繋がるだけでなく、聴覚に障害を起こす可能性がありますので、ご注意ください。

### クリーニング：

必要であれば、エアダスターや乾いた布でミキサーを清掃し、ホコリ等の付着を防いでください。ベンゼンやアルコールなどの溶剤はご使用にならないよう注意してください。

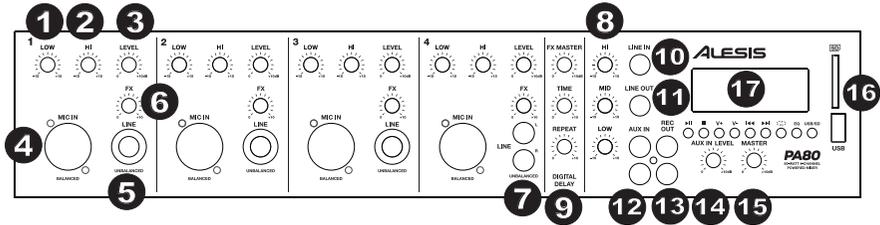
## トップパネル



はじめに>同梱品のリストにないものは別売です。

## 機能

### ミキサー (フロントパネル)



1. **LOW** : チャンネルの低音域のレベルを調整します。
2. **HI** : チャンネルの高音域のレベルを調整します。
3. **LEVEL** : チャンネルの音量を調整します。
4. **マイク入力端子 (MIC IN・バランス)** : 標準的な XLR ケーブルを使用して、ダイナミックマイクをここに接続します。
5. **チャンネル・ライン入力端子 (LINE・アンバランス)** : Φ6.3mm 標準プラグケーブルを使用して、ギターやシンセサイザー、ドラムマシン、CD プレーヤーなどラインレベルの機器をここに接続します。
6. **FX コントロール** : このノブで、内蔵のデジタルディレイに送る音量を調整します。
7. **RCA ライン入力端子** : 標準的な RCA ケーブルで、CD プレーヤーやコンピューター、タブレット、スマートフォンなどの外部機器を接続します。これらの多くは出力端子が、3.5mm 径のステレオミニ端子ですので、その場合、Φ3.5mm ステレオミニ端子 - RCA 端子の Y 字ケーブルが別途必要になります。
8. **3 バンド EQ** : マスター出力に対する 3 バンドイコライザーです。 **HI** は高音域の、 **MID** は、中音域の、 **LOW** は低音域の音量を調整します。
9. **デジタルディレイ (DIGITAL DELAY)** : 各チャンネルの FX コントロールから送られた信号にデジタルディレイをかけてマスターに出力します。
  - **FX MASTER** : デジタルディレイのかかり具合を調整します。
  - **TIME** : デレイタイムを調整します。右に回すほどディレイ音の間隔が長くなります。
  - **REPEAT** : ディレイの残響を調整します。右に回すほど、ディレイ・リピートが長くなります。
10. **ライン入力端子 (LINE IN)** : 標準プラグ (アンバランス) のモノラルケーブルでラインレベルの機器をここに接続します。接続する前に入力する機器側の音量を 0 にしておき、接続後の音量は、入力する機器側で調整してください。
11. **ライン出力端子 (LINE OUT)** : 標準プラグ (アンバランス) のモノラルケーブルで、外部機器のラインレベルの入力端子に接続します。この端子から出力される音声は、スピーカー出力端子から出力される音声と同一のものです。
12. **外部入力端子 (AUX IN)** : 標準的な RCA ケーブルで、ラインレベル出力を持つ外部機器を接続します。この端子に入力された音声は、ダイレクトにスピーカー出力端子から出力されます。
13. **レコード出力端子 (REC OUT)** : 標準的な RCA ケーブルで、テープデッキやコンピューターのサウンドカード、ポータブル・レコーダーなどの入力端子に接続します。この端子から出力される音声は、スピーカー出力端子から出力される音声と同一のものです。
14. **外部入力レベル (AUX IN レベル)** : このノブで、外部入力端子 (AUX IN) に入力された音声の音量を調整します。

15. **マスターレベル (MASTER レベル)** : このノブで、スピーカー出力端子からの音声の音量を調整します。
16. **USB 端子&SD カードスロット** : MP3 ファイルを含んだ USB メモリや SD カードを挿入します。
17. **USB/SD・デジタルプレーヤー** : USB メモリや SD カード内の MP3 ファイルの再生を行います。詳しくは、**ミキサー (USB/SD デジタルプレーヤー部)** の項目を参照してください。

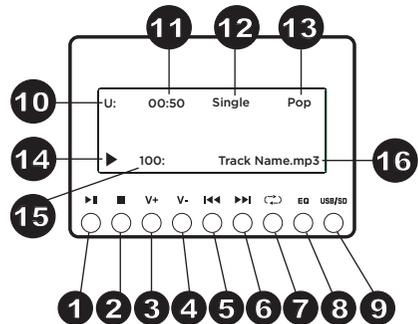
## ミキサー (USB/SD デジタルプレーヤー部)

**重要** : 以下の操作を行うには、USB メモリや SE カードが正しく挿入されている必要があります。

挿入した USB メモリや SD カードにアクセスするには :

1. **USB/SD (モード)** ボタンを 2 秒間押し、ディスプレイをオンにします。
2. **USB/SD (モード)** ボタンを押して、USB メモリまたは SD カードを選択します。
3. **前のトラックボタン**と**次のトラックボタン**を使用して、再生したいファイルを選択し、**再生ボタン**を押して再生を開始します。
4. **V+**と**V-**ボタンを使用して、音量を調整します。

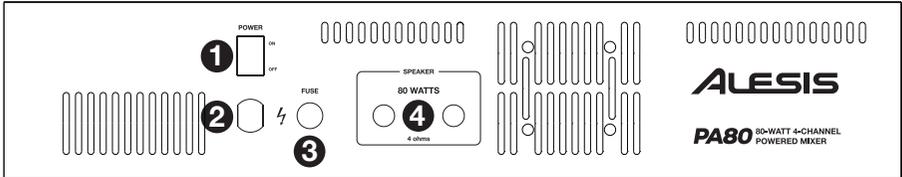
1. **再生 (一時停止) ボタン** : ファイルの再生と一時停止を行います。
2. **停止ボタン** : 再生を停止します。
3. **V+ボタン** : このボタンを押し続けて、音量を大きくします。
4. **V-ボタン** : このボタンを押し続けて、音量を小さくします。



5. **前のトラックボタン** : 前のトラックを選択します。
6. **次のトラックボタン** : 次のトラックを選択します。
7. **リピートボタン** : このボタンを押して、リピートモードを切り替えます : ランダム、シングル、オール。
8. **EQ ボタン** : このボタンを押して、プリセット・イコライザーを切り替えます : **Pop**、**Rock**、**Jazz**、**Classic**、**ノーマル**。このイコライザーは、MP3 再生機能にのみ適用され、その他の音声や入力音声に影響ありません。
9. **モード (USB/SD) ボタン** : USB か SD か、メディアを選択します。
10. **モード表示** : 現在選択されているメディア (USB または SD) を表示します。
11. **再生時間表示** : 現在のトラックの再生時間を表示します。
12. **リピート表示** : 現在設定されているリピートモードを表示します : **Random** (ランダム)、**Single** (シングル・1 曲のみリピート)、**All** (オール・すべての曲をリピート)。
13. **EQ 表示** : 現在設定されているプリセット EQ を表示します。

14. **再生状態表示**：三つのマークにより、現在のトラックがどのような（再生、一時停止、停止）状態にあるかを表示します。
15. **トラックナンバー表示**：現在のトラックナンバーを表示します。
16. **ファイル名表示**：現在のファイル名を表示します。

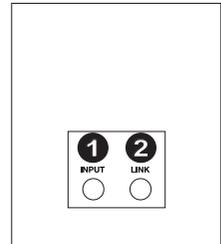
## ミキサー (リアパネル)



1. **POWER スイッチ**：このスイッチでミキサーの電源のオン・オフを切り替えます。
2. **電源コード**
3. **フューズホルダー**：もし度々フューズが切れるような場合は、使用を停止し、カスタマーサポートにご連絡ください。
4. **スピーカー出力端子**：付属のスピーカーケーブルを使用して、同梱のスピーカーの入力端子（INPUT）と接続します。もし、同時に 4 台のスピーカーを使用する場合は、8～16Ωのスピーカーを使用してください。また、スピーカーを 1 台のみ使用する場合、4～8Ωのスピーカーを使用してください。

## スピーカー (リアパネル)

1. **入力端子 (INPUT)**：付属のスピーカーケーブルを使用して、ミキサーのスピーカー出力端子と接続します。
2. **リンク端子 (LINK)**：他のパッシブスピーカー（8～16Ω）を接続する場合に使用します。



## 付録

### 技術仕様

- 電源： 100-120V ~60Hz、80W
- ミキサー・サイズ： 約 47.2 x 14 x 22.8cm (W x H x D)
- ミキサー・重量： 約 6.2kg
- スピーカー・サイズ： (1本) 約 34 x 52 x 28cm (W x H x D)
- スピーカー・重量： (1本) 約 8.5kg

### 商標およびライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc., の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他の製品名や会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

**alesis.jp**